



当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は長期的な競争力を維持し、更なる向上を図るために、適切な執行の監督と機動的な意思決定を両立できる取締役会を目指しています。この度、当社は取締役会の実効性を高め、企業価値の向上を図ることを目的として、2022年4月期における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

1. 分析・評価の方法

自己評価・分析につきましては、アンケート方式にて実施いたしました。2022年4月開催の定時取締役会において、その内容を分析・審議し、取締役会の実効性確保の状況を確認いたしました。併せて今回の結果を踏まえた対応について、取締役会において審議及び確認を行いました。

2. 評価項目

全ての取締役・監査役に対するアンケート(選択式設問および記述式設問。合計40問)。設問はコーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を踏まえつつ、外部機関の助言を得ながら作成しました。

- ① 取締役会メンバーの構成について
- ② 取締役会開催頻度について
- ③ 取締役会の議論について
- ④ 取締役会の付議事項について
- ⑤ 取締役会の役割について
- ⑥ 取締役・監査役に対する情報提供について
- ⑦ 内部統制について

3. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果等から、当社は、市場変更に伴うガバナンス強化に向けた体制整備を進め、コロナウイルス感染状況を考慮し、取締役会のリモート開催の定着や、子会社・関連会社の重要な議案については複数回の審議機会を設ける等、議論を活性化させる取組み等により2022年4月期における当社取締役会についても概ねその実効性が向上していることを確認しました。また、今後も更なる改善を要する事項について課題を以下の通り認識いたしました。

- ① 社外取締役に対する情報共有の充実や議案の理解を深める一層の体制整備
- ② 収益力、資本効率、ESG、SDGsに対応した経営戦略に関する議論の更なる充実

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- ① 取締役会の審議事項について年間スケジュールを策定します。
- ② 事前の情報提供の機会を設け、社外取締役の議案に対する理解度を高めることで企業価値向上に資する中長期的な経営戦略の審議の充実を図ります。
- ③ 各種審議の背景となる情報共有を目的に勉強会を実施、社外取締役の現場・工場等の見学会や社内外取締役の意見交換の機会を拡充します。

以上